

2022年8月17日

各位

ENEOS株式会社  
常務執行役員 水島製油所長 孫 正利

水島製油所における油分の飛散について

ENEOS株式会社水島製油所（所長：孫 正利、以下「当製油所」）内のコークス製造装置におきまして、8月13日（土）に大気開放弁を誤まって開放したことにより、油分（ガスおよびミスト）を飛散させたことが8月16日（火）に判明しました。

地域の皆様をはじめ関係各位に対しまして、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けし、心よりお詫び申し上げます。

油分が飛散した範囲につきましては、当製油所北東エリアであることを確認しておりますが、詳細な範囲は現在、調査中です。

当該エリアにおきましては、飛散した油分が車両などに付着していることが報告されております。付着物に触れた場合には、石鹸等で十分に洗い流していただくようお願いいたします。

今後、速やかに、油分付着の被害を受けられた地域の皆様に、誠意をもって対応してまいります。つきましては、被害を受けられた方は、大変お手数ではございますが、以下連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

飛散を確認後、ただちに、当製油所に対策本部を立ち上げ、誤操作にいたった原因について調査を進めております。地元行政のご指導をいただきながら、事態の収束に向けて会社を挙げて対応してまいります。

関係各位には、多大なご迷惑、ご心配をお掛けいたしましたこと、あらためて深くお詫び申し上げます。

<経緯>

8月13日（土）23時頃	当製油所内のコークス製造装置において、大気開放弁の誤開放により、約90秒間、油分を大気に放出
8月14日（日）14時頃	児島消防署より宇野津地区で油分の飛散があるとの連絡を受け、当製油所にて調査を開始
8月15日（月）	当製油所内での調査継続
8月16日（火）13時頃	油分が当製油所からの飛散であることが判明 対策本部を設置

連絡先：水島製油所総務グループ

<所在地> 岡山県倉敷市潮通二丁目1番地

<電話番号> 086-458-2511（休日・夜間を含む）

以上